

令和元年度 第1回 学校運営協議会の報告

令和元年5月20日(月)15時30分より、令和元年度第1回学校運営協議会を開催しました。学校長の挨拶に続き、委員紹介および事務局紹介を行い、次の2点について校長から報告・説明をしました。

- ① 平成30年度学校評価、令和元年度学校経営計画について
- ② 令和元年度授業アンケート（前期）について

これらの報告に対して委員長を中心に協議に入り、以下のようなご提言やご意見をいただき、学校側から説明をしました。

○本年度の新たな取組みにおいて、先生の負担が増えるしわ寄せがくるのではないか。

- 教職員への負担に関しては、働き方改革を考えると矛盾を感じられるが、教職員に対しては、忙しい時期とそうでない時期、長い期間でのスケジュール管理を見直していただくと同時に、学校としても教科を超えた取組みの共有や、外部に委託できるものについては委託する等、働き方改革を意識した無理のない仕組み作りをめざしていく。

○今年度、志願倍率が極端に低くなった(1.028)が、その理由については？(昨年1.58, 一昨年1.30, 3年前1.37) また、生徒の様子についてはどうか？

- 他校もそのような傾向が出ているのか。→このような状況に陥った府内の高校がどれだけあるのか次回の運営協議会までに分析をする。
- 私立高校の専願率の上昇や生徒・保護者の安全志向も考えられる。
私立高校は指定校推薦数などが多く、進学に有利であると思われる部分もあるが、夕陽丘においても、指定校推薦数は増える傾向にあり、今年度の厳しい進学状況の中、出口の保証もしっかりとできている。
本校では中学生の追跡調査はできない。そのためにも中学校の分析を頂きたい。
- 男子生徒がやや増え、運動部が活気付いている。学力においても、4月の学力テストを分析する限りでは、一昨年度(平成29年度入学生)までと変わらない。

○今年度、校長が変わり、委員として協力していくためにも、校長の方針を出してほしい。

- 生徒達の持つ力を1つ上の段階に引き上げる。具体的には外の刺激を与え、校内外の様々な場面で自信を持たせる。そうすることで夕陽丘の生徒は更に伸びると考えている。

○3SKなどユニークな取組み、魅力的な取組みをしてほしい。

- 総務部より、広報マガジン発行をしていくと報告。広報でやれることを進めていく。私学に負けていないものがある。進学実績などアピールできるポイントを広報していく。
- 高大連携の推進や大学見学の積極的参加のシステム作りや働きかけ、2020年に向けて今年度動き出す。
- 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。道徳教育の重点項目をしぼり、外の刺激、多文化共生を取り入れた道徳、小中学校の道徳教育をモデルにカリキュラムを作り上げることを検討していく。

最後に学校長より挨拶があり閉会となりました。

第2回運営協議会は 11月5日(火)午後2時50分～午後5時(授業見学を含む)を予定しております。

令和元年度 第2回 学校運営協議会の報告

令和元年11月5日(火)15時40分より、令和元年度第2回学校運営協議会を開催しました。学校長の挨拶に続き、次の4点について校長から報告・説明をしました。

- ③ 令和元年度学校経営計画進捗状況について
今年度の入学者選抜における志願倍率の低下についての分析
- ④ 令和元年度授業アンケート(第1回)結果について
- ⑤ 学校教育自己診断結果の中間報告
- ⑥ 令和2年度使用教科書一覧

これらの報告に対して委員長を中心に協議に入り、以下のようなご提言やご意見をいただき、学校側から説明をしました。

○倍率低下に関する分析について

中学校を訪問し担当者から話を聞くなどして推察できる要因を説明。委員の方からは、志願者の動向については理解したが、在校生に対し「夕陽丘高校を選んだ理由」を聞くことにより、より中学生の思いに合致した説明会での取り組みができるのではないかと。加えて、中学校だけでなく塾など各方面からの意見を参考にした方がよい、との意見をいただいた。

- 生徒・保護者にアンケート調査を実施する。
- 11月、12月には学校説明会を開催し、夕陽丘の魅力を伝えていく。

○学校経営計画進捗状況等について

学校イメージを多面的に知る必要があるのではないかと。学校教育自己診断の項目「学校に行くのが楽しい」(89.2%)は100%にしたい。保護者の回収率が8割強であるが、もう少し上がってもいいのではないかと。広報に関しては、十分に尽力していることが伺える。との意見をいただいた。

- 大阪府立唯一の音楽科の設置校ということで音楽科に注目が集まる場所もある。普通科の生徒の頑張りもしっかりアピールしていく。
- 学校教育自己診断の保護者の回収率をアップするために、配布時にメール等の手段を使い協力依頼を徹底するよう取組んでいく。

○授業観察・第1回授業アンケートの結果について

授業アンケートの平均値(3.52)は非常に高く、授業観察の様子からも先生方の授業改善に取り組んでいる姿勢がうかがえる。授業はわかりやすく努力されている。生徒も集中力を持って取り組んでいる。今後更に「主体的で対話的な深い学び」となるようにしっかり取組んでいく。また、授業アンケート項目「この時間のねらい、ポイントを伝えているか」については、満点(4.0)となるべきと考える。との指摘をいただいた。

- 授業改善については、各教科で研究し取り組んでいる。
- わかりやすく教える・聞かせるだけでなく、生徒に自ら取り組む授業、生徒が主体となって取組み、対話的で深い学びに結び付ける授業展開を求めていく。

最後に学校長より挨拶があり閉会となりました。

第3回運営協議会は 1月28日(火)午後3時30分～午後5時を予定しております。

令和元年度 第3回 学校運営協議会の報告

令和元年1月28日(火)15時30分より、令和元年度第3回学校運営協議会を開催しました。学校長の挨拶に続き、次の4点について校長から報告・説明をしました。

- ① 令和元年度学校経営計画および学校評価について（追加資料として自治会報告について）
- ② 令和2年度学校経営計画および学校評価について
- ③ 令和元年度学校教育自己診断について
- ④ 令和元年度授業アンケートの結果について

①の令和元年度学校計画および学校評価については中期的目標を中心に報告を行い、夕陽学や3SK、いじめ防止や教育相談についてはアンケートによる振り返りや自己評価を行いました。またグローバル人材育成や国内最高の音楽教育に関しては語学研修や公開レッスンを行い、満足度調査では90%以上(公開講座レッスンに関しては100%)という結果が出ました。

これらを踏まえて、②令和2年度学校経営計画および学校評価については中期的目標である1.進路希望実現および2.自主・自律をより高めることを目標設定しました。

以上の報告に対して委員長を中心に協議に入り、以下の提言や意見をいただき、学校側から説明をしました。

○中期的目標に掲げられた主体的対話的な学びについて、うまく進んでいるのか。実態の報告について。

- ペアワークやグループワークの実施や主体的に考えさせるなどの先生方の授業を、公開授業月間を設け、教員相互で共有する中で、各教科・各教員で授業改善が進んでいる。

○学校経営計画を実施していく中で教員の負担が増していくのではないかという意見について。

- 同僚性を大切にし、これからも ALL 夕陽で取り組んでいく。

その他、やらされる仕事ではなく主体的に取り組むことでストレス指数は低くなる。また、教員の実負担量を軽減するために、外部委託できるものはアウトソーシングを行うことで改善できるのではないかという意見をいただいた。

○普通科と音楽科との交流はどの程度あるのかについて。

- 1年次は同じフロアにいるが、2年3年次はフロアが離れてしまう。しかし、合唱コンクールや様々な行事で交流の機会がある。また、教科においても体育など、普通科と一緒に実施されるものがある。今後もそれぞれ刺激を受けることが出来るようともに活動していく。

委員の方からは、例えば、国語の小説の読み解きに関して普通科と音楽科との違いなど、意見を交換することで、お互いに刺激を受けて交流が深められるのではないかという意見をいただいた。

○中期的目標の3.グローバル人材育成と4.国内最高の音楽教育に関して、令和2年度も同じなのかについて。

- 4に関しては現状でも多岐にわたり精一杯行っている状態。生徒のアンケートからも反響があった。しかし、令和2年度の音楽科入試予想倍率が低迷していることは懸念している。

この意見に対して、委員の方より、HPなどによる印象や認知度の向上を行ってほしいという意見をいただいた。一方で私立学校の広報などを参考にしてもよいが、広報予算的にそれが可能かという難しいという意見も出た。また、夕陽丘高校は幅広い教養の修得も目標としているが、進学を重視する昨今の現状を踏まえると教養の修得の必要性などをうまく理解してもらえるような表現や工夫が必要ではないかという意見もいただいた。

- 夕陽丘高校の行っている取り組みをより多くの方に知っていただけるよう広報の充実に努める。

最後に学校長より挨拶があり閉会となりました。